

<報道関係各位>

2012年2月23日

山田・大槌 浜のミサंगा「環」生産者協議会
三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会

東日本大震災からまもなく1年。応援いただいた大阪の皆さんと交流、感謝の気持ちを伝えます
復興への祈りを込めて漁網のミサंगाを編む、三陸の女性たちが来阪

「いわて三陸 復興の絆キャラバン in 大阪」

三陸の女性たちが復興の想いを込めて漁網で作る「浜のミサंगा環（たまき）」

1セット1100円あたり、700円以上が被災地の皆さんの賃金になります。

【日時】2012年3月3日(土)10時～15時

【場所】大丸 心齋橋店 北館1F南入口（心齋橋筋商店街側）

山田・大槌 浜のミサंगा「環」生産者協議会は、三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会と連携し、東日本大震災で被災した岩手県下閉伊郡山田町・上閉伊郡大槌町で、復興への願いを込めて「浜のミサंगा環（たまき）」を作る女性たちが大阪の皆さんと交流しながら実演・販売を行う「いわて三陸 復興の絆キャラバン in 大阪」を、3月3日（土）10時より、大丸心齋橋店北館1F南入口にて行います。

未曾有の大震災からまもなく1年が経とうとしています。しかし津波で失った三陸の港や漁場の復旧は、まだ依然として進んでいません。浜の人々は仮設住宅には入居したものの生活を支える仕事の確保はまだまだ難しく、大きな不安を抱えています。

昨年6月、岩手県大船渡市三陸町で甚大な津波被害を受けた浜の女性たちは、いわし漁などに使われる漁網と麻紐を使って手仕事を始めました。この「浜のミサंगा環（たまき）」は、浜から浜へと広がっていきました。ミサंगाは1セットをご購入いただくと700円以上が被災地の皆さんの賃金となり地域に雇用を生み出す“キャッシュ・フォー・ワーク”の手法で被災者の自立支援を目指しています。

「浜のミサंगा環（たまき）」は、浜から浜へと広がっていき、これまでに岩手・宮城の約300人の作り手によって12万セット以上（2012年1月31日現在）を生産しました。この手仕事は、震災で深く傷を負った浜の女性たちに仕事と仲間、そしてほっとする笑顔をもたらしました。

3月3日（土）は、岩手県下閉伊郡山田町・上閉伊郡大槌町の女性達4名が来阪します。山田町・大槌町には、震災後、大阪府警の皆さん、お好み焼きやたこ焼き店の皆さんなど、多くのボランティアの皆さんが支援や応援に駆け付けていただきました。

今回の来阪では、復興への願いを込めてミサंगाを作り続けてきた女性たちが手仕事の実演と販売を行いながら、震災直後から応援いただいた大阪の皆さんと復興を語り、交流し、ありがたいの気持ちを伝えます。

加えて山田町・大槌町の「震災から1年の懸命の歩み」を写真パネルや映像にてご覧いただけます。

なお、本事業は、農林水産省の『食と地域の絆づくり被災地緊急支援事業（農山漁村コミュニティ活性化対策）』の支援を受けて実施しています。

つきましては、報道関係者の皆様には、ご多忙の折かと存じますが万障お繰り合わせの上、ぜひご取材いただきたくお願い申し上げます。

<本件に関する報道関係の皆様からのお問合せ先>

「三陸に仕事を！プロジェクト」広報デスク（プランニング・ボート）福嶋・瀬尾
TEL：06-4391-7156 携帯TEL：090-8163-3160（福嶋）

<一般の皆様からのお問合せ先>

三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会 info@sanriku-shigoto-project.com

※大変お手数ではございますが会場準備の都合上、ご取材いただける方は3月2日（金）までにFAX返信用紙または、お電話にてご連絡いただきたくお願い申し上げます。

「いわて三陸 復興の絆キャラバン in 大阪」 開催概要

- 名称 「いわて三陸 復興の絆キャラバン in 大阪」
- 日時 2012年3月3日（土） 10：00～15：00
- 場所 大丸心齋橋店 北館1F南入口（心齋橋筋商店街側）
※大阪市中央区心齋橋筋1-7-1
※地下鉄御堂筋線心齋橋駅（南北改札、南南改札）より地下道直結
- 主催 山田・大槌 浜のミサンガ「環」生産者協議会
- 企画・運営 三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会
- 協力 大丸心齋橋店
- 趣旨 被災地・三陸で生まれた復興への想いを込めた手仕事「浜のミサンガ 環」は、震災で深く大きな傷を負った浜の女性たちに仕事と仲間、そしてほっとする笑顔をもたらしました。そこで今度は、ミサンガを作るだけでなく支援いただいた大阪の皆さんと復興を語り、交流し、ありがたい気持ちを伝え、また元気をいただく、感謝と復興のキャラバンを行います。
- 内容 1) 「浜のミサンガ 環」三陸の作り手女性たちによる実演・販売&復興語り
「浜のミサンガ 環（たまき）」（太・細2本セット/1,100円税込）
ブルーバージョン（青）・ウインターバージョン（緑）・ホワイトバージョン（白）・
さくらなでしこバージョン（ピンク）の4種を手作りしながら販売します。
2) 山田町・大槌町の「震災から1年の懸命の歩み」
- 参加者 山田町・大槌町の「浜のミサンガ 環」の作り手4名
三陸に仕事を！プロジェクト事務局スタッフ



「浜のミサンガ 環」【上】
と作り手の皆さん

「浜のミサンガ 環」について

未曾有の大震災から1年が経とうとしています。避難所から仮設住宅へと住まいは移ったものの、地域の暮らしを支え、生きていくための原動力となる「仕事」はまだまだ得られていません。仮設住宅に移ることで、暖房費を初めとした水道光熱費などの支払いが必要になってきました。被災地にはなかなか思うような仕事が無く、故郷から離れざるを得ない人たちが増えてきています。

これらを打開するために、お金だけのためではなく、やりがい、張りあい、そして未来に希望をつなぐ心の糧を創出する「キャッシュ・フォー・ワーク」を取り入れたのが、三陸に仕事を！プロジェクト「浜のミサンガ 環（たまき）」です。

このプロジェクトは、被災地で雇用を生み、被災地にお金を還流させ、仕事があることで元気を生む、仕組みです。大船渡市三陸町や釜石市などの生産グループ数名でスタートしましたが、浜から浜へ、ついには県を越え 宮城県までの広がりを見せています。震災直後は、家も家族も失って、茫然としてこもりがちになり、未来も希望も見えない日々が続きましたが、囲炉裏で仲間と一緒におしゃべりをしながら、一生懸命ミサンガ作りに励むことで、静かだった被災地に笑い声や、今後の話をする場が生まれました。

“環”とは、日本古来のブレスレットの呼称です。被災地にあった使われない漁網を利用し、ひとつひとつ漁網で編んだオリジナルのミサンガは、被災者の女性たちがグループになって手仕事で作り、2011年6月に第一期限定販売、その後も東北地方をはじめ全国各地の店舗やインターネットを通じて販売してきました。

ミサンガの販売代金1,100円(1セット・税込)のうち、材料費や販売経費、諸経費を除いた576円が作り手の方々の賃金となります。また、材料である網を切ったりする二次加工を担い、作り手さんをサポートする現地の被災企業・被災者の方々にも1セットにつき154円(為替や材料費の変動で変化)が支払われ、被災地の方々の収入になります。

●キャッシュ・フォー・ワーク報告 2011年12月31日現在

[生産数]	118,028 セット
[販売数]	101,555 セット
[つくり手さんの人数]	298 人
[つくり手さんの収入]	67,984,128 円
[生産管理者さんたちの収入]	10,386,464 円



※キャッシュ・フォー・ワーク(Cash for Work)とは

「労働対価による支援」の訳。被災された方々みずからが復旧・復興のために働き、それに対して対価を支払う支援プログラムのことです。多くの途上国の災害復興の場面で採用されてきた実績があります。例えば2004年のインド洋大津波災害の被害を受けたインドネシア、2008年にミャンマーを襲ったサイクロン災害、2010年のハイチ大地震など、こうした災害では多くのNGOや国連機関によりCFWが実施され、その効果を挙げてきました。

- ・運営母体： 三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会
- ・事務局： 岩手めんこいテレビ・仙台放送・盛岡博報堂・仙台博報堂・博報堂テーマビジネスユニット
- ・活動推薦団体：キャッシュ・フォー・ワーク・ジャパン
代表 永松伸吾（関西大学社会安全学部 准教授）

【FAX返信先：06—6110—7759】

《FAX返信用紙》

「三陸に仕事を!プロジェクト」広報デスク
(プランニング・ポート内) 福嶋・瀬尾 宛

復興への祈りを込めて漁網のミサンガを編む、三陸の女性たちが来阪

「いわて三陸 復興の絆キャラバン in 大阪」

【日時】 2012年3月3日(土)10時~15時

【場所】 大丸 心斎橋店 北館1F南入口(心斎橋筋商店街側)

取材 (____ 時頃 ~)

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	他 _____ 名様	
連絡先	TEL _____	FAX _____

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※大変お手数ではございますが会場準備の都合上、ご取材いただける方は3月2日(金)までに
FAX返信用紙または、お電話にてご連絡いただきたくお願い申し上げます。